

第44期通常総会が開催

5月24日(木)16時15分からメルパーク横浜において通常総会が開催された。定足数を満たしているとの岡部司会者の報告で始まり、岸部理事長の議事進行で過年度決算・事業報告、本年度予算・事業計画案など第1号から第5号議案について全会一致で可決された。第6号議案の任期満了に伴う役員改選については提案通り新役員が全会一致で承認され、その後の特別理事会で三役が決まり、別表の通りの役員体制となった。4期目も



留任となった岸部理事長は「この業界はアベノミクスにより景気が良くなったが、今後の方針としては組合の基本である会員の増強を図り最盛時130社から現47社に減少しているの50社以上を目指す、神奈川は土地代が高く狭小な工場が多いので5S運動をさらに推進する、関東各県組合は支部会活動を活発に展開していて神奈川も組合の基盤である支部会活動を強化していきたい」と挨拶された。この役員改選により24年間理事・副理事長・理事長として組合の発展に大きく貢献されてこられた加藤卓郎理事・相談役は退任されることになり、岸部理事長から感謝状と副賞が贈られた。加藤理事・相談役は「神奈川の工場は小規模であ

るがそれぞれが独自の特性をもって存在感がある。事業承継もうまくやり社業を発展させていってほしい」と挨拶された。

総会前には、理事長から全構協及び全鉄評からの情報連絡として①Mグレードの責任者と管理技術者との兼務解消の注意喚起、②性能評価基準において開先のない通しダイヤフラムの板厚制限の緩和などの変更が今後性能評価承認を取得した工場に適用される、③現場工事労務費の法定福利費保険料率は0.161を適用などが報告された。

研修会「一人親方の災害補償問題事例について」は岸部理事長から一人親方が工場内でクレーン操作時での指の損傷に伴う災害補償の事例について説明があった。会社を守るためには対応する保険をかけておく、弁護士特約の保険もある、労働安全衛生法で定められた資格保有者の作業や自主点検など徹底しておくことが重要であると締めくくられた。

17時過ぎから賛助会員との交流会が7階のレインボウで多くの賛助会員の方が参加されて開催された。歓談の後に青柳新理

役員一覧

理事長	岸部 直喜	(株)岸本建設工業
副理事長	石井二三夫	(株)石井鉄工所
副理事長	澤田 和夫	岩原工業(株)
副理事長	岡部 仁陽	岡部鉄工(株)
副理事長	福士 勝利	城南メタル(株)
理事	青柳 厚志	(株)青柳製作所
同	小原 清太	(株)小原鉄工所
同	佐々木慎一	(有)太陽工機製作所
同	佐藤 健彦	(有)佐藤鉄工
同	田中 聡	(有)田中工業所
同	辻 政彦	(株)キクシマ
同	星 正躬	(有)三協組
同	山口 和伸	三葉鉄工(株)
同	村岡 高幸	本間興業(株)
同	好井 貴之	(株)好井鐵工所
同	菅原 伸之	(株)菅原建鉄工業
監事	小泉 学	(株)コイズミ
同	加藤 敦史	(株)加藤組鉄工所



代表者人事 4月 株式会社SK-PERFORMANCE(厚木市上依知) 摩庭 一修氏 (前社長はご逝去)

事から賛助会員がそれぞれ紹介されて新商品や近況など披露され、和やかなうちにお開きとなった。参加者は66名だった。

役員会だより

総会前に5月役員会が開催された。

・7月17日に実施される県予算要望自民党ヒアリングの要望事項として老朽化に伴う公共建築の立替計画明示と鋼構造の積極採用、働き方改革に関連しての適正な請負代金と工期設定の2点について要望することになった。

小泉学氏が全青会関ブロック会長に就任

5月19日(土)茨城県土浦市のホテルマロウド筑波において全国鐵構業青年部連合会関東ブロック

第27回 通常総会



協議会第27回通常総会が開催され、田中会長、柳川副会長、小泉関東ブロック担当、鈴木が参加しました。通常総会は第1号議案から第7号議案まで審議されすべて承認されました。そのうち第3号議案任期満了に伴う役員改選が行われ、関東ブロック会長に神奈

青年部の横顔

No. 6



城南メタル(株)
専務取締役 村岡 正樹
川崎市川崎区浅野町5-11
TEL 044-271-9001
FAX 044-271-9301
E-mail
muraoka@jonan-m.co.jp

弊社は既存改修鉄骨や耐震補強鉄骨、付帯鉄骨等を主に手掛けています。既存改修鉄骨や耐震補強鉄骨は施主側との工程調整や既存鉄骨、既存躯体の調査等施工計画がとても大事になり、同じ鉄骨が2つとないとても大変な工事だと思います。

趣味は特になく、年を取ってからも続けられる趣味を今後色々経験し見つけていきたいと思っています。

青年部活動ですが、私は元々現場工事以外した事がなく鉄骨製作のことなど分からない事ばかりだったのですが、青年部の皆さんにいろいろと教えていただき客先と話すのは恥ずかしくない程度に分かるようになりました。最初は正直やる事が増えて大変だと思っていましたが、とても為になる組合活動だと思います。また、懇親会等で仲良くなった会員と仕事のやり取り、相談ができて仕事の幅が広がったと思います。これからも横のつながりを大事にし、青年部を盛り上げていきたいと思っています。

熱中症に気を付けましょう！！

今年も夏の猛暑が続くと予想されています。熱中症対策向けの気象情報(気象庁ホームページ「熱中症ポータルサイト」)を活用しましょう。

<管理>

- ①作業員の体調管理(日常の健康管理と指導一食事・睡眠・アルコールのチェック、暑さへの慣れ)
- ②作業環境への配慮(高温多湿状態の改善)
- ③熱中症の発症、予防の理解

<個々の対応>

- ①空調服・インナーの装着(作業服に電動ファンを着用し、風の涼しさと汗の気化を促進する)
- ②後頭部の冷却(冷却グッズをヘルメットに密着して後頭部から首を外部から冷やす)
- ③塩水分補給(こまめに水分、塩分を摂取)

<症状の分類と措置>

発症したら、意識と症状を確認して措置をする。

症 状		措 置
軽度	めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗	涼しい環境への避難、 脱衣・冷却 水分・塩分の摂取
	頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感	
重度	全身けいれん、意識障害、手足の運動障害、高体温	医療機関へ搬送するか救急隊を要請

川県から役員として派遣されていた小泉学氏が選出されました。

総会後の研修会として「継承したい

会社継承しやすい会社にするために」をテーマに会社の承継問題についてYAMAGUCHI ACCOUNTING OFFICEの講師により今後直面する継承問題の問題点と難しさが講演された。

懇親会では全青会会長の中原会長が「全構協は関東ブロックの活動に大いに期待しているとのことなので、頑張ってい

きましょう」と挨拶され、関東ブロック小泉会長は初仕事の挨拶では緊張することなく場を和ませる会話をしている、会場は50人ほどの参加者で大いに賑わっていました。

[鈴木]



全構協からのお知らせ

先日配布しました「鉄骨製作管理技術者教本 2018年版」の一部訂正については全構協ホームページ「トピックス(最新情報)」をご参照ください。

